

科目名 (英)	美容総合技術 Comprehensive beauty technology	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹、足立祐季、荒谷健太、 下島友弥、高橋美羽、川戸有子、遠藤智緒里
		授業形態	演習			
学科・コース	美容師科	時間数	210	有	開講区分	前期
		単位	7		曜日・時間	火1・2/木1~4限/金1・4
講師紹介	美容室・ヘアメイク現場・ブライダル業界などの各美容業界で活躍しており、高い技術力と多様な知識を持っている講師から、美容業界の現場で必要とされる知識、技術を実践的に活用できる授業の提供をする。					
目的 科目概要	業界で活躍するプロから最新の技術と現場力を学ぶ。					
到達目標	常に、お客様、モデルを想定しての接客・応用技術を身に付けることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材						
特記事項	講義及び掲示物について、著作権のある資料も使うことがある為 写真撮影及び録音録画を禁止する					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	美容全般の技術を学ぶ①	ヘア、メイク、ブライダルの幅広い技術の応用 基礎技術の振り返り
2	美容全般の技術を学ぶ②	ヘア、メイク、ブライダルの幅広い技術の応用 基礎技術の振り返り
3	美容全般の技術を学ぶ③	ヘア、メイク、ブライダルの幅広い技術の応用 基礎技術の振り返り
4	美容全般の技術を学ぶ④	ヘア、メイク、ブライダルの幅広い技術の応用 現場に応じた一連の作業工程を学ぶ
5	美容全般の技術を学ぶ⑤	ヘア、メイク、ブライダルの幅広い技術の応用 現場に応じた一連の作業工程を学ぶ
6	美容全般の技術を学ぶ⑥	ヘア、メイク、ブライダルの幅広い技術の応用 現場に応じた一連の作業工程を学ぶ
7	プレゼンテーション①	テーマに合わせた作品のプレゼンテーションを実施する
8	美容全般の技術を学ぶ②	お客様が求めている要望、クライアントからの要望などテーマ設定を行い、その想定しロールプレイで実施する
9	美容全般の技術を学ぶ②	お客様が求めている要望、クライアントからの要望などテーマ設定を行い、その想定しロールプレイで実施する
10	美容全般の技術を学ぶ②	お客様が求めている要望、クライアントからの要望などテーマ設定を行い、その想定しロールプレイで実施する
11	美容全般の技術を学ぶ②	8～9回の授業振り返り、課題の克服する
12	美容全般の技術を学ぶ②	お客様が求めている要望、クライアントからの要望などテーマ設定を行い、その想定しロールプレイで実施する
13	美容全般の技術を学ぶ②	お客様が求めている要望、クライアントからの要望などテーマ設定を行い、その想定しロールプレイで実施する
14	美容全般の技術を学ぶ③	お客様が求めている要望、クライアントからの要望などテーマ設定を行い、その想定しロールプレイで実施する
15	美容全般の技術を学ぶ③	プロから評価をしていただく

科目名 (英)	保健 Health	年次	2	実務経験	担当	青柳光子
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	美容師科	単位	1			曜日・時間
講師紹介	美容師養成施設教員免許取得(衛生管理・保健・化粧品・文化論・運営管理) 国内外での美容師としての技術・知識を活かしわかりやすく授業を行う。					
目的 科目概要	保健と美容は深い関係があり、基本的な保健知識を身につけることでお客様からの信頼を得ることができる。					
到達目標	教科書の基本的な語句と意味を覚えることで、「美」に関するのトータルサポートができるようになる。 美容国家試験重要科目を理解して確実に合格レベルを上げるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 提出課題					
教科書	日本理容美容教育センター 保健Ⅱ	事前事後 学習と その内容	教科書をベースに重要なポイントをプリント等を使用する。			
教材	PowerPoint					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	授業説明・達成目標・評価基準・定期試験・授業進行・授業ルール 国家試験についての意識を高める。
2	人体・皮膚科学 演習問題①	人体:第2章 骨格器系 皮膚:第1章 皮膚の構造を理解できるようになる
3	人体・皮膚科学 演習問題②	人体:第3章 筋系 皮膚:第2章 皮膚付属器官の構造 《1項 毛 2項 脂腺(皮脂腺)》を理解できるようになる
4	人体・皮膚科学 演習問題③	人体:第4章 神経系 皮膚:第2章 皮膚付属器官の構造 《3項 汗腺 第4項 爪》を理解できるようになる
5	人体・皮膚科学 演習問題④	人体:第5章 感覚器系 皮膚:第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 《1項 対外保護作用 2項 体温調節作用 3項 知覚作用と皮膚反射》を理解できるようになる
6	人体・皮膚科学 演習問題⑤	人体:第6章 血液と免疫系 皮膚:第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 《4項 分泌排泄作用 5項 呼吸作用 6項 吸収作用 7項 貯蔵作用》を理解できるようになる
7	前期 中間試験	人体の構造及び機能 10問 皮膚科学を理解できるようになる
8	前期 中間試験《解答・解説》	中間試験の内容を知識・スキルを定着できるようになる
9	人体・皮膚科学 演習問題⑥	人体:第7章 循環器系 皮膚:第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 《1項 皮膚と全身状態 2項 皮膚と精神 3項 皮膚と栄養》を理解できるようになる
10	人体・皮膚科学 演習問題⑦	人体:第8章 呼吸器系 皮膚:第5章 皮膚と付属器官の保健 《8項 皮膚の保護と手入れ 9項 毛の保護と手入れ 10項 爪の保護と手入れ》を理解できるようになる
11	人体・皮膚科学 演習問題⑧	人体:第9章 消化器系 皮膚:第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 《12項 分泌異常による皮膚疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患》を理解できるようになる
12	人体・皮膚科学 演習問題⑨	人体:総合問題 皮膚:第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 《14項 ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患》を理解できるようになる
13	人体・皮膚科学 演習問題⑩	人体:総合問題 皮膚:第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 《16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症による皮膚疾患》を理解できるようになる
14	前期 期末試験	国家試験基礎的総合問題 人体の構造及び機能 15問 皮膚科学 15問を実施し、理解できるようになる
15	前期 期末試験《解答・解説》	学んだ内容(インプット)を基に、問題を解く(アウトプット)理解の定着ができるようになる

科目名 (英)	衛生管理 Hygiene management	年次	2	実務経験	担当	青柳光子
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	美容師科	単位	1			曜日・時間
講師紹介	美容師養成施設教員免許取得(衛生管理・保健・化粧品・文化論・運営管理) 国内外での美容師としての技術・知識を活かしわかりやすく授業を行う。					
目的 科目概要	日本国憲法第25条第1項「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」とあるように、美容と深い関係があり、衛生管理の知識を身につけることは信頼につながる。					
到達目標	不特定多数の人たちが利用する施設のため、環境衛生をどのように保つか、感染症を理解して適切に対応できるようになる。 また、美容備品についての消毒方法を理解して安全で清潔に美容業務を行うことができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■提出課題					
教科書	日本理美容教育センター 衛生管理Ⅱ		事前事後 学習と その内容	教科書をベースに重要なポイントをプリント等を使用する。		
教材	PowerPoint					
特記事項						

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	授業説明:達成目標・評価基準・定期試験・授業進行・授業ルール 国家試験についての意識を高める。
2	感染症 演習問題①	第3編 1章 感染症の総論 【1節 人と感染症】 3.感染症の法律 4.感染症の分類を理解できるようになる
3	感染症 演習問題②	第3編 1章 感染症の総論 【2節 病原微生物】 1.病原体の種類 2.病原体の形と大きさ 3.微生物の構造 4.微生物の増殖と環境を理解できるようになる
4	感染症 演習問題③	第3編 1章 感染症の総論 【3節 感染症の予防】 2.汚染、感染及び発病 3.常在細菌叢 4.免疫と予防接種 を理解できるようになる
5	感染症 演習問題④	第3編 2章 感染症の各論 【2節 主な感染症】 1.空気・飛沫を介して感染する感染症 2.飲食物を介して感染する感染症を理解できるようになる
6	感染症 演習問題⑤	第3編 2章 感染症の各論 【2節 主な感染症】 3.血液等を介して感染する感染症 4.動物・節足動物を介して感染する感染症を理解できるようになる
7	前期 中間試験	第3編 感染症 20問を実施し、深く理解することができる
8	前期 中間試験《解答・解説》	中間試験の内容を知識・スキルを定着することだ出来るようになる
9	衛生管理技術①	第4編 第1章 消毒法総論 【2節 消毒の意義】を理解できるようになる
10	衛生管理技術②	第4編 第2章 消毒法各論 【1節 理学的消毒法(殺菌法)】を理解できるようになる
11	衛生管理技術③	第4編 第2章 消毒法各論 【2節 化学的消毒法(殺菌法)】を理解できるようになる
12	衛生管理技術④	第4編 第3章 消毒法実習 【1節 各種消毒薬】を理解できるようになる
13	衛生管理技術⑤	第4編 第3章 消毒法実習 【2節 理容所・美容所の消毒の実際】を理解できるようになる
14	前期 期末試験	国家試験基礎的総合問題 感染症 15問 衛生管理技術 15問を実施し、より深く理解することができる
15	前期 期末試験《解答・解説》	学んだ内容(インプット)を基に、問題を解く(アウトプット)理解の定着ができるようになる

科目名 (英)	関係法規・制度 Related law and regulations	年次	2	実務経験	担当	宗像純子
		授業形態	講義			
学科・専攻	美容師科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	1			曜日・時間
講師紹介	行政書士として法律実務に携わっている。私自身が法律を学んだ経験から法律を学ぶコツ、国家試験での重要ポイントをみなさんにお伝えするとともに、法律がどのように実社会で関わりを持つのか、実際の事例をご紹介します。法律を身近に感じてもらう授業をする。□					
目的 科目概要	目的: 国家試験科目であることから、国家試験に十分合格できる基礎知識を習得する。特に美容師法は将来美容師となった際に直接関係するため、その具体的なイメージを常に膨らませ基礎知識を学んでいく。 科目概要: 法律が実生活とどう関わってくるのか、その場面をイメージすることを重視し、具体的な事例を多く取り入れ、学ぶ。国家試験に合格できる十分な点数を取れるために、正確な知識を習得する。暗記に頼らず、「なぜ」「どうして」という自ら考える力をつけることに重点を置く。					
到達目標	美容師法の基本知識を正確に取得する。 一つ一つの条文の具体的な場面を説明することができる。 その条文が「なぜ」存在しているのか、「何のために」設けられているか、説明することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	教科書(関係法規・制度 公益社団法人日本理容美容教育センター)			事前事後 学習と その内容	事後学習に重点を置くことが望ましい。小テストの復讐はすぐに行い、知識の積み重ねに意識を向けて欲しい。	
教材	毎回配布するプリント					
特記事項	毎回プリントを配布するため、「関係法規」のファイル(フラットファイル)を用意すること。第一回目の授業で詳細をお伝えする。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	法制度の概要・法とは何か	難解と感じる法律について、まず法とは何かという点を理解する。具体的な事例を通じ、社会でどのように機能し、美容師となった場合にどのように関係してくるのか、法律の存在意義を知る。
2	美容師免許の取得方法	美容師養成施設へ入学し、国家試験を受け、免許を登録する、という美容師免許を取るためにすべきことを学ぶ。まさにこれから美容師免許を取得する自分がしなければならないことを知る。
3	用語の定義・美容師免許制度	普段使いの意味ではなく、法律上規定されている用語の意味をしっかりと理解する。「美容」「美容所」等の定義を学ぶ。免許の扱い方を学ぶ。美容師にとって美容師免許はとても大切なものであり、変更が生じた場合の対応の仕方を学ぶ。
4	美容師の守るべき義務	美容師になった際に最も気をつけなければならない、法律上美容師が負う義務を知る。
5	美容師に対する行政処分	美容師がやってはいけないことをした際にいかなる処分を受けるかについて学ぶ。美容師業務に大きな影響を及ぼすこのテーマの内容は今から意識し、絶対に処分を受けないようにする心構えを持つ。
6	管理美容師	「管理美容師」と呼ばれる、特別な資格を持った美容師について学ぶ。「管理美容師の仕事内容・資格の取得方法など管理美容師の全てを学ぶ。
7	定期試験・解説	試験を通じて自分の今の実力を知る。
8	美容所の開設	美容所をオープンさせることができる人は誰なのか、そしてそのためにはいかなる手続きを踏むべきなのか、流れと内容を習得する。自分が独立する際には必須となる知識を知る。
9	開設者が負う義務	開設者が美容所を開設した後に負うべき義務について、その内容と違反した場合のペナルティについて学ぶ。
10	立入検査・美容所以外の業務 行政機関・保健所・衛生行政	美容所を開設した後に行政が行う立入検査の内容を知る。さらに、例外的に美容所以外で美容業ができる場面を知る。美容師の社会での位置付けを知るために、いかなる分野の業種に振り分けられているかを学び、特に関わりの深い保健所の役割、業務内容、根拠法令を知る。
11	行政処分・罰則	美容師・開設者になった自分をイメージし、ペナルティとして受ける行政処分・罰則の内容を知るとともに、当事者にならないようにすべきこと、万が一当事者になった時にどうすべきか、の救済方法までを習得する。
12	関連法規その1	美容師法以外の美容師にまつわる法律を俯瞰する。「生衛法」、「労働基準法」、「日本政策金融公庫法」等について学ぶ。
13	関連法規その2	美容師法以外の美容師にまつわる法律を俯瞰する。「消費者基本法」や「地域保健法」を学ぶ。
14	定期試験	試験を通じて自分の今の実力を知る。2回目の定期試験であるため、問題の解き方にも意識を向けて受ける。
15	定期試験の返却・解説・法律の全体像	定期試験の解説については、誤った問題については特に、どこをどう間違ったかの修正を行う。今までの総まとめとして、日本では法律に基づく行政がどのように行われているか、大きな視点から法律を押さえる。

科目名 (英)	化粧品化学 Cosmetic chemistry	年次	2	実務経験	担当	加藤 亜希
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	美容師科	単位	1			曜日・時間
講師紹介	・美容師やメイクアップアーティストとして、流行を提供するリーダー的存在であると同時に、基本となるベーシック理論・知識をもつてのプロと呼べる。美容のプロとして、お客様の立場に立ち、そして幅広く、専門的な知識を学びいかせる。					
目的 科目概要	美容技術に使用する化粧品の成分の理解と必要性について学ぶ。使用上の注意など実用的な例題を知り、現場で生かすことができる。					
到達目標	化粧品に使用される成分の名称、役割を覚える。日常使用している商品についても興味関心を持つことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 ■ 提出課題					
教科書	化粧品化学	事前事後 学習と その内容	前期は基礎的な用語を学び、後期の練習問題に備えます。			
教材	教科書・iPad・プリントやノートなど適宜					
特記事項	ノートの作成					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	授業説明・総論	①持ち物確認、評価基準など②総論(美論の確認※パーマ剤とカラー剤)を理解できるようになる
2	第2節 水と親水性溶媒	①水とアルコール ②水素イオン指数(pH)を理解できるようになる
3	第3節 油性原料	①油脂 ロウ類 ②炭化水素 ・その他の油性原料(高級脂肪酸、高級アルコール、脂肪酸エステル、シリコンを理解できるようになる
4	第4節 界面活性剤	①P63界面活性剤の種類 ②P148 シャンプー料を理解できるようになる
5	第6節 色材	①無機顔料 ② 有機合成色素、光輝性顔料 天然色素を理解できるようになる
6	第5節 高分子化合物・第7節 香料	①高分子化合物 ② 香料を理解できるようになる
7	中間試験	1～6回までの試験を行う
8	中間試験振り返り	中間試験の解答、すり合わせ(間違いが多かった問題について)を実施し、知識を定着させることができる
9	第8節	①防腐剤・殺菌剤、酸化防止剤 金属イオン封鎖剤 緩衝液を理解できるようになる
10	第9節 その他機能性配合原料 第10節 雑貨原料	①保湿剤、収れん剤、ビタミン ② 雑貨原料 P142まつ毛・ネイル製品を理解できるようになる
11	第9節その他機能性配合原料	①P86 紫外線吸収剤 ②P119 サンケア製品を理解できるようになる
12	クレンジング用化粧品	①P103クレンジング化粧品 ②コンディショニング用化粧品を理解できるようになる
13	クリーム・トリートメント用化粧品	①クリーム(エモリエント効果)②多機能化粧水と化粧液を理解できるようになる
14	定期試験	1～13回までの内容で試験を行い、知識を定着させることができる
15	試験の振り返り	試験内容を再度実施し、解説まで行い、知識を定着させることができる

科目名 (英)	美容技術理論 Beauty technological theory	年次	2	実務経験	担当	宮城 裕美
		授業形態	講義			
学科・専攻	美容師科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	1			
講師紹介	長年美容師、美容学校講師経験をしている講師が美容師の国家試験に必要な技術・知識・心得を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	国家試験筆記に必要な知識を身につけ、国家師試験の合格を目指す。					
到達目標	美容全般にかかわる技術の理論、取り扱い器具、薬剤知識を学び、説明できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 □実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	美容技術理論1・2	事前事後 学習と その内容	授業の後、復習をし実習では習った単元の場合、技術理論を思い出し実践できるように臨んでほしい。□			
教材	タブレット					
特記事項	ノート・筆記用具(ペン・マーカーを含む)を用意する					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	8章 エステティック	授業の進め方 教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト
2	8章 エステティック	教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト
3	9章 ネイルデザイン	教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト
4	9章 ネイルデザイン	教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト
5	10章 メイクアップ	教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト
6	10章 メイクアップ	教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト 中間試験について
7	中間試験	自習・中間試験・ノートの提出 復習をすることで知識を定着させることができる
8	中間試験の返却	ノートの返却・中間試験の解説 小テスト 復習をすることで知識を定着させることができる
9	11章 日本髪	教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト
10	11章 日本髪	教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト
11	12章 着付けの理論と技術	教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト
12	12章 着付けの理論と技術	教科書の確認・目を通す・ノートにまとめ理解することができる・小テスト
13	今までの復習	中間試験について・今までの復習をすることで知識を定着することができる・小テスト
14	定期試験	自習・定期試験 わからないことを理解し学ぶことができる
15	定期試験の返却	定期試験の解説・復習をし、理解し学ぶことができる

科目名 (英)	運営管理 Operational management	年次	2	実務経験	担当	加藤 亜希
		授業形態	講義			
	時間数	30	有	開講区分	前期	
学科・専攻	美容師科	単位			1	曜日・時間
講師紹介	現役美容師として現場に立つ講師が、経営者の目線、顧客の目線、スタッフの目線をふまえた講義をおこなう。					
目的 科目概要	この授業は、基本的に経営者の視点から考得られている。それらを学ぶことで、自らがどのように行動するべきかを学び、視野を広げ、顧客や社会のための仕事の責任を理解し、より良い美容師として活躍してもらいたいと願う。					
到達目標	経営者の視点を通じて、資金管理・社会保険・健康管理を理解する。 国家試験課題を想定して、問題を解くことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 ■ 提出課題					
教科書	運営管理			事前事後 学習と その内容	対面授業(授業用ノート準備してください)	
教材	配布したプリント・筆記用具・(iPad)					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	授業説明	授業説明と国家新科目について/経営とは・美容業界を理解し学ぶことができる
2	第1編 第3章	資金の管理/会計を理解し学ぶことができる
3	第1編 第3章	税金について/申告納税制度を理解し学ぶことができる
4	第2編 第1章	人という資源(採用・トレーニング制度・給与の役割)を理解し学ぶことができる
5	第2編 第2章	社会保険① 公的年金(厚生年金)を理解し学ぶことができる
6	第2編 第2章	社会保険① 公的年金(国民(基礎)年金・国民皆年金制度)を理解し学ぶことができる
7	中間試験	第1～6回の全範囲
8	第2編 第2章	社会保険② 医療保険(健康保険)を理解し学ぶことができる
9	第2編 第2章	社会保険② 医療保険(国民健康保険・後期高齢者医療制度・介護保険)を理解し学ぶことができる
10	第2編 第1章	労働者の権利(労働基準法)を理解し学ぶことができる
11	第3編	健康管理(労働安全衛生法)健康診断を理解し学ぶことができる
12	第2編 第2章	社会保険③ 労働保険(雇用保険)を理解し学ぶことができる
13	第2編 第2章	社会保険③ 労働保険(労働者災害補償保険)を理解し学ぶことができる
14	定期試験	第8～13回の全範囲実施し、知識を定着できるようになる
15	試験の振り返り	振り返りをおこない知識を定着できるようになる

科目名 (英)	美容実習(ワインディング) Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	宮城裕美 蔭割美実
		授業形態	実習			
学科・専攻	美容師科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	火曜日3~4限 水曜日3~4限
講師紹介	<p>長年美容師として現場に立ち実務経験のある講師が、美容師国家試験に必要な技術・知識・心得を習得する授業を行う。</p>					
目的 科目概要	<p>目的:国家試験にむけて全頭20分で仕上げる 概要:衛生の用具や国家試験の流れを習得できる。</p>					
到達目標	<p>美容師の国家試験第2課題(ワインディング)に合格するための技術・知識を習得できる。</p>					
評価方法	<p>学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。</p> <p><input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題</p>					
教科書	美容実習1 美容技術理論1			事前事後 学習と その内容	必要な用具類の確認を行い早めに準備し忘れ物のないように臨んでください	
教材	ワインディング用具一式					
特記事項	用具の使い方や指の動きを自分で分析して確認していくこと					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	国家試験の流れ、準備物について	準備物、国家試験の流れの説明 全頭25分でできるようになる
2	国家試験の流れ 準備物の確認	準備物、国家試験の流れで授業を行う 全頭23~25分できるようになる
3	国家試験の流れ 準備物の確認	準備物、国家試験の流れで授業を行う 全頭23~25分できるようになる
4	国家試験の流れ	全頭23~25分できるようになる
5	中間試験について	中間試験の採点項目を理解し作品を確認し、次に活かせることができる
6	中間試験の流れ	中間試験の採点項目に基づいて作品を確認し、次に活かせることができる
7	中間試験	練習 全頭25分できるようになる
8	中間試験の振り返り・返却	中間試験でできなかった箇所、部分の確認、練習し、次に活かせることができる
9	国家試験の流れ	ブロックごとにタイムを計る、全頭20~23分 センター・サイドの強化できるようになる
10	国家試験の流れ	ブロックごとにタイムを計る、全頭20~23分 フロントの強化できるようになる
11	国家試験の流れ	ブロックごとにタイムを計る、全頭20~23分 バックサイドの強化できるようになる
12	定期試験について	定期試験の採点項目を理解し、作品を確認し、次に活かせることができる
13	定期試験の流れ	定期試験の採点項目に基づいて、作品を確認し、次に活かせることができる
14	定期試験	練習 全頭23分できるようになる
15	定期試験の振り返り・返却	定期試験できていなかった箇所、部分の確認、練習し、次に活かせることができる

科目名 (英)	美容実習 第1課題カット Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	竹内 小塚 宮城
		授業形態	実習			
学科・専攻	美容師科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	水曜1～2限・3～4限
講師紹介	美容師として長きに渡り経験のある講師が、美容師国家試験に合格するための専門的な知識・技術を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的:美容師国家試験に合格できる知識と技術を習得する。概要:合格基準を理解し、正しいシザー開閉、シェーブ、姿勢を身に付けることが必要。					
到達目標	国家試験第一課題カットの手順を覚えることができる。設定時間内に完成することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書						事前事後 学習と その内容 シザー開閉の練習を行い、カットのスピードや正確さを高める。動画視聴による予習復習。
教材	国試カットマニュアル・動画					
特記事項	欠席した場合は、マニュアル・動画で学習をして次の授業に臨む。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	国試カットの手順を覚える ウイッグ①新品	第3ブロックまでの手順を覚える・ブロッキングを正確にとることができるようになる・15分目標
2	国試カットの手順を覚える ウイッグ①	第1ブロックまでの手順を覚える・ブロッキングを正確にとることができるようになる・15分目標
3	国試カットの手順を覚える ウイッグ①	手順の復習・ブロッキングを正確にとる全頭カット30分が実施できるようになる
4	国試カットの手順を覚える ウイッグ①②新品	チェックカットを覚える・全頭カット30分・エアーカット25分実施できるようになる
5	国試カットの手順を覚える ウイッグ②	全頭カット30分・エアーカット25分実施できるようになる
6	国試カットの手順を覚える ウイッグ③新品	全頭カット30分・エアーカット25分実施できるようになる
7	中間試験 ウイッグ④新品	全頭カット30分実施できるようになる
8	試験の振り返り ウイッグ③④	評価を踏まえて課題の確認・全頭カット25分・エアーカット20分実施できるようになる
9	タイム短縮と構成の理解を深める ウイッグ⑤新品	全頭カット25分・エアーカット20分実施できるようになる
10	タイム短縮と構成の理解を深める ウイッグ⑤	全頭カット25分・エアーカット20分実施できるようになる
11	タイム短縮と構成の理解を深める ウイッグ⑥新品	全頭カット25分・エアーカット20分実施できるようになる
12	タイム短縮と構成の理解を深める ウイッグ⑥	全頭カット25分・エアーカット20分実施できるようになる
13	タイム短縮と構成の理解を深める ウイッグ⑦新品	全頭カット25分・エアーカット20分実施できるようになる
14	タイム短縮と構成の理解を深める ウイッグ⑦	全頭カット25分・エアーカット20分実施できるようになる
15	定期試験 ウイッグ⑦⑧新品	全頭カット25分のできるようになる

科目名 (英)	美容実習(オールウェーブセッティング) Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	小环亜矢子 竹内有美 蔭割美実
		授業形態	実習			
学科・専攻	美容師科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	水1・2限 火3・4限
講師紹介	美容師として長きに渡り経験のある講師が、豊富な経験を生かし国家試験課題の技術をわかりやすく指導し、個々の技術力や理解力を把握し、個々に合った指導を行う。学ぶ事の苦手意識が克服できるように努め、主体性が発揮出来る授業展開を目指す。					
目的 科目概要	目的:美容師国家試験の基礎知識、基礎技術を学び、国家試験に合格する力をつける。 概要:国家試験の採点項目に沿って、技術向上をお目指す。					
到達目標	美容師国家試験に合格するための技術・知識・心構えを習得する。全頭をタイム内でマニュアル通り忠実に作ることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書	美容実習 I 美容技術理論 I		事前事後 学習と その内容 マニュアルや動画を参照し、多数の技法を理解し、習得できるよう復習する。			
教材	タブレット(teamsのマニュアル、動画)					
特記事項	マニュアル / 動画にたくさん細かい説明等を書きこむ。理解できなかった事は、その日に必ず質問し、理解しないままにしない。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	1年生の復習	・ローションの付け方 ・基礎の強化 ・左右ウェーブまで25分⇒20分 ・リフトカール5分⇒4分実施できるようになる
2	1年生の復習	・ローションの付け方 ・基礎の強化 ・左右ウェーブまで20分 ・リフトカール4分で実施できるようになる
3	5段目逆リフトカールの導入	・左右ウェーブまで20分 ・リフトカール4分 ・逆リフトカール導入(4分)で実施できるようになる
4	5段目までのタイムとクォリティーアップ	・左右ウェーブまで18分(2段目まで6分、3段目カールまで12分) ・4. 5段目カール7分で実施できるようになる
5	5段目までのタイムとクォリティーアップ	・左右ウェーブまで18分(2段目まで6分、3段目カールまで12分) ・4. 5段目カール7分 ・中間試験採点項目について実施できるようになる
6	5段目逆リフトカールまで25分	・左右ウェーブまで18分(2段目まで6分、3段目カールまで12分) ・4. 5段目カール7分 ・中間試験採点項目について実施できるようになる
7	中間試験	・5段目逆リフトカールまで25分で実施できるようになる
8	左右ウェーブ、リッジの強化	・左右ウェーブまで14分(2段目まで5分、3段目カールまで9分) ・4. 5段目カール6分で実施できるようになる
9	左右ウェーブ、リッジの強化/6段目カール導入	・5段目逆リフトカールまで20分 ・6段目メイポールカール導入(3分)で実施できるようになる
10	左右ウェーブ、リッジの強化とタイムアップ	・左右ウェーブまで14分(2段目まで5分、3段目カールまで9分) ・4. 5. 6. 段目カール9分で実施できるようになる
11	左右ウェーブ、リッジの強化/7段目カール導入	・左右ウェーブまで14分(2段目まで5分、3段目カールまで9分) ・4. 5. 6. 段目カール9分 ★7段目クロッキノールカールが実施できるようになる
12	左右ウェーブ、リッジの強化/カールのクォリティアップ	・左右ウェーブまで14分(2段目まで5分、3段目カールまで9分) ・4～7段カール13分 ・全頭27分 ★定期試験採点項目について実施できるようになる
13	全頭タイムで作る	・全頭27分 ・採点項目と作品の確認し、実践できるようになる
14	定期試験	・全頭27分 ・採点項目と作品の確認し、実践できるようになる
15	国家試験タイムで作る	・全頭25分 ・採点項目と作品の確認 ・卒業判定試験に向けてタイムアップできるようになる

科目名 (英)	就職講座 Career Development	年次	2	実務経験	担当	佐藤 翔 ・ 大迫 暁子
		授業形態	演習			
学科・専攻	美容師科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	1		曜日・時間	月曜日1・2限
講師紹介	美容業界に従事してきた教員が、就職活動に必要なコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を養うための授業を行う。多様化する価値観や違いを受け入れ、現場で必要とされる即戦力を身に付けた業界人になるサポートをします。					
目的 科目概要	社会人になる上で、現実起こりうる問題に対応するノウハウを学び、働く上で必要な社会人基礎力を身に付ける。就職内定先に向けて、仕事理解を深め、4月より社会人としてスタートできるように、身構え・気構え・心構えを身に付ける。					
到達目標	国家試験合格 「学生」と「社会人」の違いを説明できるようになる 卒業後の進路を決め、卒業に向けて計画立てと行動をし、結果に繋げることができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	新社会人の基礎力109		事前事後 学習と その内容	前期1週目に立てた「個人の目標」と「1年後の目標」をしっかりと読み込んでおく		
教材	iPad・筆記用具・ファイル					
特記事項	体調・時間を自己管理し、新たな知見を増やす意欲を持って授業に臨む。人任せではなく、主体的に「考える力」「行動(発言)力」を発揮できることを期待する。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	チーム会議	卒業制作の振り返り チーム目標への振り返り 卒業アルバム制作
2	国家試験に向けての個人別対策	国家試験センター 稲岡先生 講義を受け、自分の課題を理解できるようになる
3	卒業準備①	卒業アルバム作成・卒業関係書類確認等確認し、社会人に必要なスキルを学ぶことができる
4	ストレスマネジメント	セルフマネジメントを体験し日常生活にも生かすことができる
5	チームビルディング	社会人基礎力①「前に踏み出す力(主体性・実行力)」を養うことができるようになる
6	チームビルディング	社会人基礎力①「前に踏み出す力(主体性・実行力)」を養うことができるようになる
7	中間試験	社会人基礎力をより理解することができる
8	チームビルディング	社会人基礎力②「考え抜く力(課題発見力・創造力)」を養うことができるようになる
9	セルフケアを学ぶ	健康と美容のつながりを体感し学ぶことで理解できるようになる
10	職業観を養う	卒業生談話 「学生」と「社会人」の違いを学ぶことで理解できるようになる
11	チームビルディング	社会人基礎力③「チームで働く力」を養うことができるようになる
12	チームビルディング	社会人基礎力③「チームで働く力」を養うことができるようになる
13	チームビルディング	社会人基礎力③「チームで働く力」を養うことができるようになる
14	定期試験	社会人基礎力 筆記 55問
15	卒業準備	社会人にへ向けた準備を行うことができる

科目名 (英)	化粧品化学 cosmetic chemistry	年次	2	実務経験	担当	加藤 亜希
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	美容師科	単位	1			曜日・時間
講師紹介	・美容師やメイクアップアーティストとして、流行を提供するリーダー的存在であると同時に、基本となるベーシック理論・知識をもつてのプロと呼べる。美容のプロとして、お客様の立場に立ち、そして幅広く、専門的な知識を学びいけさせる。					
目的 科目概要	化粧品の成分役割を分類できる。					
到達目標	国家試験課題を解くことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 ■ 提出課題					
教科書	化粧品化学	事前事後 学習と その内容				
教材	教科書・iPad・プリントやノートなど適宜					
特記事項	ノートの作成					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	授業説明・総論	①持ち物確認、評価基準など②を学び理解できるようになる。
2	単元別・国試対策	パーマ剤を学び理解できるようになる。
3	単元別・国試対策	カラー剤を学び理解できるようになる。
4	単元別・国試対策	水・エタノール・色材を学び理解できるようになる。
5	単元別・国試対策	紫外線・界面活性剤を学び理解できるようになる。
6	単元別・国試対策	防腐剤・安定剤を学び理解できるようになる。
7	中間試験	1～6回までの試験を行い、「より深く学ぶことができる」。
8	国試対策	過去問を使用し弱点を学び理解できるようになる。
9	国試対策	過去問を使用し弱点を学び理解できるようになる。
10	国試対策	過去問を使用し弱点を学び理解できるようになる。
11	国試対策	過去問を使用し弱点を学び理解できるようになる。
12	国試対策	過去問を使用し弱点を学び理解できるようになる。
13	国試対策	過去問を使用し弱点を学び理解できるようになる。
14	定期試験	1～13回までの内容で試験を行い、理解できるようになる。
15	試験の振り返り	自分の苦手な課題を見つけ、強化できるようになる

科目名 (英)	衛生管理 Hygiene	年次	2	実務経験	担当	青柳光子
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	美容師科	単位	1			曜日・時間
講師紹介	美容師養成施設教員免許取得(衛生管理・保健・化粧品・文化論・運営管理) 国内外での美容師としての技術・知識を活かしわかりやすく授業を行う。					
目的 科目概要	日本国憲法第25条第1項「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」とあるように、美容と深い関係があり、衛生管理の知識を身につけることは信頼につながる。					
到達目標	不特定多数の人たちが利用する施設のため、環境衛生をどのように保つか、感染症を理解して適切に対応できるようになる。 また、美容備品についての消毒方法を理解して安全で清潔に美容業務を行うことができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ●筆記試験 ●提出課題					
教科書	日本理美容教育センター	事前事後 学習と その内容	教科書をベースに重要なポイントをプリント等を使用する。			
教材	PowerPoint					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	授業説明:達成目標・評価基準・定期試験・授業進行・授業ルール 国家試験についての意識を高める。
2	衛生管理総合 演習問題①	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
3	衛生管理総合 演習問題②	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
4	衛生管理総合 演習問題③	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
5	衛生管理総合 演習問題④	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
6	衛生管理総合 演習問題⑤	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
7	後期 中間試験	衛生管理総合問題 20問実施することで知識の定着ができるようになる。
8	後期 中間試験《解答・解説》	中間試験の内容を知識・スキルを定着できるようになる。
9	衛生管理総合 演習問題⑥	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
10	衛生管理総合 演習問題⑦	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
11	衛生管理総合 演習問題⑧	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
12	衛生管理総合 演習問題⑨	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
13	衛生管理総合 演習問題⑩	講義と教科書で学んだ知識を実際の問題を解くことで定着できるようになる。
14	後期 期末試験	衛生管理総合問題 50問実施することで知識の定着ができるようになる。
15	後期 期末試験《解答・解説》	学んだ内容(インプット)を基に、問題を解く(アウトプット)理解の定着ができるようになる。

科目名 (英)	美容技術理論(Ⅰ) Beauty technological theory	年次	2	実務経験	担当	宮城 裕美
		授業形態	講義			
学科・専攻	美容師科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	1			曜日・時間
講師紹介	長年美容師、美容学校講師経験をしている講師が美容師の国家試験に必要な技術・知識・心得を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	過去の問題などを見返し、国家師試験の合格を目指す。					
到達目標	美容技術の基礎知識を理解し、習得する。技術理論を理解し、国家試験を合格する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	美容技術理論1・2	事前事後 学習と その内容	これまでのノートを見返し復習しておく			
教材	タブレット					
特記事項	ノート・筆記用具(ペン・マーカーを含む)を用意する					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	美容技術理論1の復習	教科書の確認(序章、1章)・小テストで授業内容を理解できるようになる
2	美容技術理論1の復習	教科書の確認(2章、3章)・小テストで授業内容を理解できるようになる
3	美容技術理論1の復習	教科書の確認(3章、4章)・小テストで授業内容を理解できるようになる
4	美容技術理論1の復習	教科書の確認(5章、6章)・小テストで授業内容を理解できるようになる
5	美容技術理論1の復習	教科書の確認(6章、7章)・小テストで授業内容を理解できるようになる
6	美容技術理論1の復習	今までの復習・小テストで授業内容を理解できるようになる 中間試験について
7	中間試験	自習・中間試験を実施することで苦手箇所を理解できるようになる
8	中間試験の返却・国家試験対策	中間試験の解説 小テストで授業内容を理解できるようになる
9	国家試験対策	問題・演習で授業内容を理解できるようになる
10	国家試験対策	問題・演習で授業内容を理解できるようになる
11	国家試験対策	問題・演習で授業内容を理解できるようになる
12	国家試験対策	問題・演習で授業内容を理解できるようになる
13	国家試験対策	問題・演習で授業内容を理解できるようになる
14	定期試験	自習・定期試験を実施することで苦手箇所を理解できるようになる
15	定期試験の返却	定期試験の解説・復習で授業内容を理解できるようになる

科目名 (英)	美容技術理論(Ⅱ) Beautytechnoigical License	年次	2	実務経験	担当	蔭割 美実
		授業形態	講義			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	美容師科	単位	1			曜日・時間
講師紹介	サロン勤務店長を務め、London. VidalSassonAcademyで技術を習得その後フリーランスに映像、MV、プライダル、イベントなど活動している講師					
目的 科目概要	美容技術理論2の教科書を中心に基礎知識を理解、習得する。国家試験筆記に必要な知識を身につけ合格を目指す					
到達目標	美容技術の基礎知識を理解し、習得する。技術理論を理解し、国家試験を合格する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 筆記試験 提出課題					
教科書	美容技術理論Ⅱ	事前事後 学習と その内容	理解出来なかった所は、確認をして覚えていく(復習)			
教材	美容技術理論Ⅱ					
特記事項	筆記用具、ノート、ファイルを用意					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	8章 エステティック	×問題、穴埋め問題、解説を行うことで知識を定着することができる
2	8章 エステティック、9章ネイル技術	×問題、穴埋め問題、解説を行うことで知識を定着することができる
3	9章 ネイル技術	×問題、穴埋め問題、解説を行うことで知識を定着することができる
4	10章 メイクアップ	×問題、穴埋め問題、解説を行うことで知識を定着することができる
5	10章 メイクアップ	×問題、穴埋め問題、解説を行うことで知識を定着することができる
6	8.9.10章	復習問題を行うことで知識を定着することができる
7	中間試験 8.9.10章	8.9.10章から出題 苦手分野を把握し、対策が取れるようになる
8	11章 日本髪	×問題、穴埋め問題 中間フィードバックをおこなうことで対策が取れるようになる
9	11章 日本髪	×問題、穴埋め問題、解説を行うことで知識を定着することができる
10	12章 着付けの理論と技術	×問題、穴埋め問題、解説を行うことで知識を定着することができる
11	12章 着付けの理論と技術	×問題、穴埋め問題、解説を行うことで知識を定着することができる
12	復習問題 日本髪、着付け	解答、解説を行うことで知識を定着することができる
13	復習問題 全章	解答、解説を行うことで知識を定着することができる
14	定期試験 美免Ⅱ全章	美論Ⅱ全章を復習行うことで知識を定着することができる
15	定期試験フィードバック	解答、解説、小テストを行うことで知識を定着することができる

科目名 (英)	美容実習(第2課題ワインディング) Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	宮城裕美・竹内有美	
		授業形態	実習			蔭割美実	
学科・専攻	美容師科	時間数	90	有	開講区分	後期	
		単位	3			曜日・時間	火曜日1~2限 水曜日3~4限 集中
講師紹介	長年美容師として現場に立ち実務経験のある講師が、美容師国家試験に合格するための技術・知識・心得を習得する授業を行う。						
目的 科目概要	目的: 国家試験にむけて目標タイムで巻けるようになる 概要: 衛生の準備物や国家試験の流れを習得できる						
到達目標	国家試験で決められたタイムで全頭巻くことができる 国家試験の衛生の準備物を説明できる						
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題						
教科書	美容実習1 美容技術理論1			事前事後 学習と その内容	ロッドを1分に3本正しく巻けるように指を慣らしておく		
教材	WD用具一式						
特記事項	毎回のタイムに集中し仕上がった作品を確認し修正する						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	前期の振り返り	後期授業の進め方について 1分で3本 全頭目標20分で実施できるようになる
2	国家試験スタイル	全頭目標20分 苦手箇所の練習で実施できるようになる
3	国家試験スタイル	全頭目標20分 苦手箇所の練習で実施できるようになる
4	国家試験スタイル	全頭目標18分 苦手箇所の練習で実施できるようになる
5	中間試験について	中間試験の採点項目を理解し作品を確認することができる
6	中間試験の流れ	練習 全頭18分で実施できるようになる
7	中間試験	練習 全頭20分で実施できるようになる
8	中間試験 振り返り・返却	中間試験でできなかった箇所、部分の確認、練習で実施できるようになる
9	国家試験にむけて	ブロックごとにタイムを計る 全頭18分以内で仕上げ作品を修正確認できるようになる
10	国家試験の採点項目について	国家試験の採点項目を理解し作品を確認できるようになる
11	国家試験の採点項目について	練習 全頭18分以内で仕上げ作品を修正確認できるようになる
12	定期試験について	定期試験の採点項目に従って作品の確認・修正できるようになる
13	定期試験について	定期試験の採点項目を理解し作品を確認できるようになる
14	定期試験	練習 全頭20分で実施できるようになる
15	定期試験振り返り・返却	定期試験できていなかった箇所、部分の確認、練習で実施できるようになる

科目名 (英)	美容実習(第1課題カット) Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	竹内有美 小坏亜矢子 宮城裕美 蔭割美実
		授業形態	実習			
		時間数	90	有	開講区分	
学科・専攻	美容師科	単位	3		曜日・時間	火曜1・2限・水曜1・2限・集中
講師紹介	美容師として長きに渡り経験のある講師が、美容師国家試験に合格するための専門的な知識・技術を習得する授業を行う。実習がメインの授業で、毎回新しい技術を学ぶ。					
目的 科目概要	目的:美容師国家試験に合格できる知識と技術を習得する。概要:合格基準を理解し、正しいシザー開閉、シェープ、姿勢を身に付けることが必要。					
到達目標	美容師国家試験に合格することができる。そのためには、カットの基礎的な知識を理解し、合格レベルに達する技術を身に付けること。さらに、衛生試験もあるので、常日頃から身だしなみ、用具類の整理整頓、準備を心掛けるようにする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	国試カットマニュアル・動画					
特記事項	国家試験採点基準を理解する					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット25分・エアカット20分で実施できるようになる				
2	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
3	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
4	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
5	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
6	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
7	中間試験	全頭カット20分で実施できるようになる				
8	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
9	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
10	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
11	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
12	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
13	タイム短縮と構成の理解を深める	全頭カット20分・エアカット15分で実施できるようになる				
14	定期試験	全頭カット20分で実施できるようになる				
15	試験の振り返り	評価を踏まえて課題の確認で次に繋げることができるようになる				

科目名 (英)	美容実習(総合オールウェーブセッティング) Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	小坏亜矢子 竹内有美 宮城裕美 蔭割美実
		授業形態	実習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・専攻	美容師科	単位	2		曜日・時間	水1~4限
講師紹介	美容師として長きに渡り経験のある講師が、豊富な経験を生かし、国家試験課題の技術をわかりやすく指導し、個々の技術力や理解力を把握し、個々に合った指導を行う。学ぶ事の苦手意識が克服できるように努め、主体性が発揮出来る授業展開を目指す。					
目的 科目概要	目的:美容師国家試験の基礎知識、基礎技術を学び、国家試験に合格する力をつける。 概要:国家試験の採点項目に沿って、技術向上をお目指す。					
到達目標	美容師国家試験に合格するための技術・知識・心構えを習得する。全頭をタイム内でマニュアル通り忠実に作る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書	美容実習 I 美容技術理論 I					
教材	タブレット(teamsのマニュアル、動画)	事前事後 学習と その内容		マニュアルや動画を参照し、多数の技法を理解し、習得できるよう復習する。		
特記事項	マニュアル / 動画にたくさん細かい説明等を書きこむ。理解できなかった事は、その日に必ず質問し、理解しないままにしない。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認 ・分け取りと左右のバランス強化できるようになる
2	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認 ・分け取りと左右のバランス強化できるようになる
3	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認 ・分け取りと左右のバランス強化できるようになる
4	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認 ・分け取りと左右のバランス強化できるようになる
5	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認 ・分け取りと左右のバランス強化できるようになる
6	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認 ・分け取りと左右のバランス強化できるようになる
7	中間試験	・全頭25分(20点)で実施できるようになる
8	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認 ・中間試験で減点された箇所を出来るようになる
9	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認ができるようになる
10	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認ができるようになる
11	国家試験採点項目に沿って作る	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認ができるようになる
12	国家試験に向けて個々の課題を明確にする	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認ができるようになる ・減点部分を出来るようになる
13	国家試験に向けて個々の課題を明確にする	・全頭25分(左右ウェーブまで13分、4~7段目カール11分)・作品の確認ができるようになる ・減点部分を出来るようになる
14	定期試験	・全頭25分(50点)・採点項目と作品の確認ができるようになる
15	国家試験に向けて個々の課題を明確にする	・全頭25分・各自の課題確認ができるようになる